

高 ち ば な

会長挨拶

同窓会会長 辻 和夫



会員の皆様には、益々ご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、「光陰矢のごとし」という言葉のように、月日の経つのは早いもので、私達の母校「日本福祉大学付属高等学校」（旧立花高等学校）も、創立45周年を迎えます。思い起こせば昭和33年、日本福祉大学の構内の木造校舎から始まった高校も、山里町校舎、東山のプレハブ校舎と変遷を経て

きましたが、現在、美浜町の日本福祉大学構内に、「付属高校」としてしっかりと根つき発展しております。新聞等で母校の記事や、同窓生・生徒諸君の活躍の情報を見るのはなんとなく誇らしいものです。しかしながら、今の、少子化傾向の中にあって、更なる発展のためには、教育内容の充実はもとより校舎等の環境の整備も大変重要になって参ります。学園創立50周年事業として、付属高等学校の整備拡充も重点的に取り上げられております。私達、同窓会としてもこの事業の成功に向け全力で取り組んでおります。同窓生の皆さん、母校のますますの充実発展のために「募金事業」にご協力をいただきますようお願いいたします。

学園創立50周年・高校創立45周年

多彩な記念事業が計画、同窓会も主体的に参加

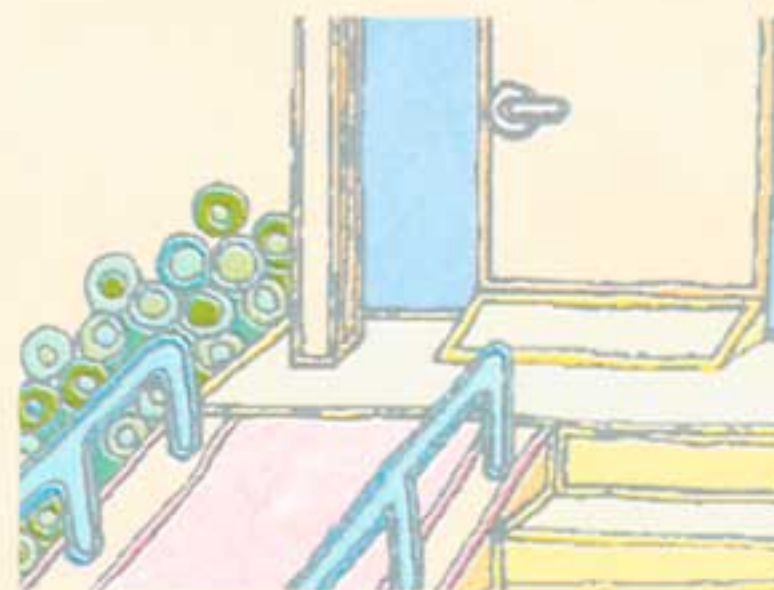
既に周知の通り、今年は日本福祉大学の前身である中部社会事業短期大学が1953年（昭和28年）に創立されてから50周年、また、日本福祉大学付属立花高等学校が1958年（昭和33年）に設立されてから45周年に当たります。

名古屋市昭和区の杵中の地（大学と同一校地）に開校した初年度の入学者は89名（男子57名、女子32名）、翌年、山里町に本校舎完成とともに移り学校規模も漸次大きくなっていきますが、1974年（昭和49年）には八事裏山に仮移転。ここでの8年間の「プレハブ校舎」時代を経て、1982年（昭和57年）に現在の知多半島美浜町の地に移転、21年を経て今年で45周年となります。現在の生徒数は663名、学級数は18。この間の卒業生（同窓生）は11,419名（2002年度卒業生226名含む）です。（学園50年間の歴史とその間の様々な出来事は10月に刊行される『50周年誌』をご覧ください。）

付属高校ではこれを記念して、以下のような様々な記念事業に取り組めます。なかでも10月18日（土）の文化事業は、1960年度（昭和35年度）の第一期卒業生（同級生）である佐藤友彦さんと狂言共同社による「狂言」上演など、同窓会が後援会やPTAとともに主体となって取り組む事業です。同窓会総会、懇親会と合わせ、同窓生が一同に会する場としたいものです。

〔施設設備等の環境整備事業〕（2003年）

- ① エレベータや障害者用トイレなど校舎のバリアフリー化事業
- ② 「総合的な学習の時間」などに対応する多目的教室の設置（2室）
- ③ 放課後に静かな環境の中で学習できる自習室の設置
- ④ ウォッシュブルトイレをはじめ明るく清潔な生徒用トイレへの全面改修
- ⑤ 同窓会やPTA、後援会が優先使用する会議室の設置
- ⑥ その他教員室の拡張など総額約1億5,000万円の高校独自事業
- ⑦ 正式競技可能な400mトラックを備えた陸上競技場（大学と共用）



〔文化事業〕

- ① 韓国の芸術、高校や国内の高校、知多地域の文化団体が参加する「伝統芸能祭」（11月1日、高校体育館）
- ② アジアを中心に世界の高校生・大学生が集う「ワールド・ユース・ミーティング」
- ③ 同窓会・後援会・PTA共催による「伝統芸能の歴史と狂言」をテーマとした講演と鑑賞会（10月18日、熱田神宮能楽殿）（同窓会と後援会は年次総会も、終了後は三団体合同の懇親会）
- ④ 知多地域の小・中・高の学校による「総合的な学習の時間」のあり方を考えるシンポジウム（2004年度事業）

同期会・クラス会の報告、案内

同窓会総会のご案内

学園創立 50（高校 45）周年記念

開催日時 2003 年 10 月 18 日(土) 13:00～

会 場 熱田神宮能楽殿及び賀城園

第 1 部 文化事業（13:20～16:35）

①学術講演「日本の伝統芸能」

講師 安田文吉氏（南山大学人文学部教授）

②狂言（解説と鑑賞 2 番）

佐藤友彦氏（第一期卒業生）と狂言共同社

第 2 部 同窓会総会・後援会総会（16:50～17:30）

第 3 部 合同懇親会（18:00～）

付属高校の三団体（PTA・同総会・後援会）が協力して行う周年記念事業です。同窓会総会としては 4 年振りです。当日は先生方も出席しますので、たくさんの方の参加をお待ちしています。



同 期 会

1983 年度卒業（第 24 回生）幹事 福井政浩

開催日 2003 年 8 月 30 日(土)

会 場 名古屋駅近く

会 費 6,000 円見込

6 月末までに Fax にて受付 052-622-0925 へ。人数決定後 Fax にて案内を送ります。

97 年度日福同総会

1997 年度卒業（第 38 回生）幹事 鷗飼勇樹

開催日 2003 年 6 月 14 日(土)

会 場 栄マルベリーホテル

会 費 5,500 円

第 3 回学年同窓会

1982 年度卒業（第 23 回生）幹事 川瀬克幸

開催日 2002 年 9 月 15 日(日)

会 場 メルパルク NAGOYA

参加者 60 名

同期会（新年会）

1978 年度卒業（第 19 回生）幹事 西村容子

開催日 2003 年 1 月 25 日(土)

会 場 武儀あらたま店

参加者 18 名

3A クラス会

2001 年度卒業（第 42 回生）幹事 武田恵子

開催日 2003 年 2 月 22 日(土)

会 場 高校調理室

参加者 19 名

同 期 会

1974 年度卒業（第 15 回生）幹事 古澤美代子、水野英子

開催日 2003 年 4 月 19 日(土)

会 場 名古屋観光ホテル

参加者 94 名

たちばな会

1962 年度卒業（第 3 回生）幹事 池田修三

開催日 2003 年 5 月 24 日(土)

会 場 知多 山海

参加者 20 名

同期生の活躍



1960 年度日本福祉大学附属立花高等学校卒業

佐藤 友彦

日本能楽会会員 和泉流狂言方
(重要無形文化財保持者)

和泉流狂言は名古屋が発祥の地、私も父に教えられ、7歳で初舞台、すでに舞台生活 50 年余となりました。私たち 1 回生はすでに還暦を迎え、この 3 月には仲間の多くが定年退職、第 2 の人生の過ごし方が話題となりがちですが、私には定年はありません。身体の続く限り現役です。名古屋での活動を本拠としながら、全国的に活動させていただいております。息子も若手狂言師として活躍中、祖父として子、孫と三代での舞台を勤めることを夢見るこのごろです。



1998 年度日本福祉大学付属高校卒業

山田 純平

知多半島を拠点に各サークル(正楽太心・鼓楽和心・輪太鼓 純・豊浜荒磯太鼓・はんだ蔵太鼓・和太鼓華・舞太鼓 純・

森太鼓など)や保育園、施設での指導・普及活動、ボランティアを含め活発に活動を行ってきました。どのイベントもお客様にとっても喜んで頂くことができ、障害児や保育園の子どもたちも、和太鼓の音に大変興味を示し、実際に叩かせてあげるとバチを手放さないくらい喜んで叩いていました。年配の方たちにも和太鼓は親しみ深いようで、私たちの演奏に涙を流して喜んでいただいたことがありました。和太鼓は子どもからお年寄りの方まで人の心を引き付けることが出来る楽器であると実感しています。これからも和太鼓を通じて人の輪を広め、生きがいづくりや、それに関わる人の人生が豊かなものになってくれれば大変うれしく思います。

なるには講座

2003 年 3 月 8 日(土)

将来の職業について、実際にその仕事についている方々から学ぼうという目的で、1・2 年生を対象に 3 月 8 日に「なるには」講座(～になるには)を開催しました。講座は全部で 20。講師には在校生父母や卒業生を中心に福祉大学や地域の方々、専門学校の先生方にお願ひしました。講師の 6 割が父母や卒業生によるもので、中には親が講師をして子どもがその講座に参加するなど、手作りの味のする取りくみでした。

講師の方々はいずれもさすがその道のプロ。興味あるお話や、実技やゲームを取り入れるなど最後まで生徒を惹きつけました。父母が講師の幼稚園・保育園教諭では「おむつ替え」の実践や、栄養士の講座では自分の日常生活から必要とするカロリー計算を電卓を使って行うなど実生活に役立つ取りくみでした。介護職の卒業生の方は、「自分の家に痴呆の老人がいるのですが、どう対応すればいいですか」という生徒からの質問に、「とにかく否定しないこと、反対しないことが大切です。時には一緒になって私もボケて会話しています」と生徒を笑わせながら『介護の秘訣』を語ってくれました。

参加生徒は、ほとんどが「大変良かった」「まあまあ良かった」と答えていました。そして、「私も将来は老人ホームで働きたいと思っています。つらいこともあると思うけど今日の話聞いて、がんばろうと思いました」(介護職員講座)「すごく自分のためになった。自分の道が少し開けた。今までどういう資格をとったらいいかわからなかったけど、この講座でよくわかった。将来、先生めざすぞ！」(小中学校教員講座)など感想が出されました。今後も「なるには」講座を開催する予定です。同窓生の皆さんの力を大いにお借りしたいと思います。よろしくお願いします。

なるには講座講師一覧

講 座	講 師	
① 社会福祉分野 A (老人)	安井佐有理さん 高木 香さん(特別養護老人ホーム)	1997 年度卒業生 1999 年度卒業生
“ B (障害者)	菅本八重子さん(作業所職員)	在校生父母
“ C (児童)	小塚光夫さん(児童養護施設)	1988 年度卒業生
“ D (社会福祉職員)	河村康英さん(社会福祉協議会)	地域の方
② 臨心理士・カウンセラー	作田織江さん (心理臨床研究センター・付属高スクールカウンセラー)	学園関係者
③ 医師・看護師	小出久美子さん(看護師)	卒業生父母
④ 作業療法士・理学療法士	藤田保健衛生大学リハビリテーション専門学校	専門学校
⑤ 医療従事者	河川剛士さん(放射線技師)	在校生父母
⑥ 幼稚園・保育園教諭	大川なをみさん(幼稚園教諭)	在校生父母
⑦ 栄養士・調理師	牛田廣子さん(栄養士)	在校生父母
⑧ 美容師・理容師	愛知美容専門学校	専門学校
⑨ 国際関係・NGO	穂坂光彦さん(日本福祉大学国際センター長)	学園関係者
⑩ 消防士・警察官	消防士：内田弘さん 警察官：大原法律専門学校	地域の方 専門学校
⑪ 自動車整備士	茶谷俊二さん	1999 年度卒業生
⑫ IT・情報関連技術	中部大学技術文化専門学校	専門学校
⑬ 旅行取り扱い・ツアーコンダクター	富田達郎さん	1992 年度卒業生
⑭ マスコミ・出版関係	平井一敏さん(中日新聞)	地域の方
⑮ ファッション・デザイン関係	石塚純子さん (株式会社代表取締役・大学非常勤)	卒業生父母
⑯ 動物関係	名古屋コミュニケーションアート	専門学校
⑰ 小中高教諭	今井志保さん(小学校教員)	在校生父母

ゆりのき祭開催に同窓会として参加

2002年10月5日(土)～6日(日)に高校にて開催されたゆりのき祭に「同窓会」の「知名度UP」を掲げ参加させていただきました。

内容 教室においては、お餅の配布、同窓会のあゆみや会報の展示・貴重な同窓会紹介のビデオ上映・「希望の実るりんごの木」を作成しました。

内容 屋外特設会場では、当日参加してくれた沢山の同窓生と先生・生徒による交流型お餅つきをし、つくたてのお餅を配布いたしました。

感想 企画から当日まで、ご参加いただきました皆さんありがとうございました。準備段階では、やったことのないお餅つきに、もち米に対する水の量から浸す時間・蒸す時間、合の手の入れ方、おいしい調理方法など悪戦苦闘をしましたが、当日は練習の成果があり、また、多くの同窓生に手伝っていただき無事終えることが出来ました。「同窓会のあゆみ」や「希望の実るりんごの木」また部屋の飾りつけや、看板まですべて手作りで出来上がった「ゆりのき祭」でした。また、今年も「ゆりのき祭」でお会いできることを楽しみにしています。

「ゆりのき祭」実行委員会



新たな奨学金に同窓会も協力

付属高校に新たな奨学金「特別給付奨学金」が創設されました。この奨学金は、主な家計支持者が急死するなど“急迫な経済的困難”に陥った時に、20万円を上限に「給付」するものです。これまで付属高校には年額10万円の「貸付奨学金」がありましたが、新たな奨学金は額も大きいこと、「給付」であることが特徴。保護者の方が不慮の死に遭遇し、このままでは学業を続けられないなどの緊急の事態に対応するために設けられました。

この奨学金は、付属高校の他に後援会と同窓会も毎年一定額を拠出し、「基金」として運用を図るものです。該当者がいなかった場合は、翌年度に繰り越されます。運営は、三団体の委員で構成される「特別給付奨学金運営委員会」が当たります。

後輩達の援助に同窓会としても積極的に携わっていきます。

ホームページ

只今ホームページの開設準備中です。社会人となってから学校と殆ど縁がなくなってしまう方でも、またここから学校との関わりを持つことができます。学校そのものが在校生だけのものではなく卒業生全員のものであり、これからは積極的に関わっていただけるように開設されました。懐かしい以前の学校風景の紹介、今後の学校行事への参加、卒業生の同窓会を内等、皆が参加できるものにしていきます。みんなでこのホームページを盛り上げて行きましょう。目指せ！全員参加！

2002 年度事業報告

2002 年度の主な活動

1. 同窓会組織の強化に向けて次のことを行いました

- 幹事不在の年度について新たに3名の幹事を選出しました
- 住所不明者について会報発送時に「住所不明者リスト」を同封し会員からの情報提供を呼びかけました
- 5月25日の幹事会終了後に幹事と教職員による交流会を開催しました
- 同窓会の事業展開を担うための委員会を設置しました

①周年事業検討委員会、②会報編集委員会、③「ゆりのき祭」実行委員会、④情報化検討委員会

2. 周年事業検討委員会

- 2003年度に迎える学園創立50（高校45）周年に合わせた事業内容の検討

3. 会報編集委員会

- 第10号発行（2002年7月発送）
- 第11号発行の編集内容の検討（2003年6月発送予定）

4. 「ゆりのき祭」実行委員会

- 2002年10月6日の高校「ゆりのき祭」に同窓会も参加しました

5. 情報化検討委員会

- 同窓会ホームページ開設に向けて検討をしました
- 同窓会会員名簿を2004年に発行することを決定しました

高校の近況報告

校長挨拶



学校長
福岡 猛志

カラッと明るい明日が、なかなか見えてこない今日この頃ですが、同窓生の皆さん、お元気にお過ごしでしょうか。皆さんの母校は今、こんな時代だからこそいっそう教育の原点に立ち返り、本当に生徒を主人公とする学校建設を進めなければならないと努力を続けています。生徒を主人公とするということは、生徒の中にある自然発生的な「要求」をそのまま受け入れるということとは違います。これからの時代を生きる若者たちにとって、本当に必要なものを、本校生徒が、楽しく誇りに満ちた、お互いに支えあう学校生活の中で身に付けていくことを保障することだと思います。自主活動の質をさらに高めなければなりません。どこへ出しても通用する高校生にふさわしい学力形成も課題です。このたび本校は、文部科学省から「学力向上フロンティア・ハイスクール」の指定を受けました。その条件もフルに活用したいと思います。周年記念事業も成功させねばなりません。同窓生の皆さんの、物心両面にわたるご支援を心からお願いいたします。

在職教職員紹介

【教員名簿】

福岡 猛志	校長
青木 律子	英語
浅生 京子	英語
浅野 正武	数学
石崎 撰	国語
伊藤 克之	国語
今田 和弘	社会
岩本 憲之	英語
大月 美和	社会
加賀 敏美	数学
金丸 典生	英語
神谷 誠一	理科
古澤 信子	数学
近藤 美穂子	社会
酒向 理恵子	理科
佐藤 耕三	国語
重藤 信夫	英語
柴田 順三	社会

竹内 智司	保健体育
谷合 真由美	国語
谷口 裕正	国語
辻坂 英雄	社会
中村 勲	社会
並木 功	数学
長谷川 友紀	英語
日高 幸浩	数学
堀 裕	保健体育
松下 悠起	保健体育
松久 直史	社会
松本 真弓	養護
三宅 勝彦	英語
宮東 靖浩	理科
宮本 純	理科
向井 直紀	社会
山口 喜久枝	国語
山田 育世	保健体育

【職員名簿】

北島 明治	事務長
朝比奈 園美	人事・教務
後藤 晃	入試・経理

金海 和江	受付・諸証明書発行
山元 洋子	庶務
相浦 香代子	図書

2003年度



この春の新入生は246名でした。知多地域での着実な増加と、名古屋での回復（若干ですが）が特徴です。同窓生の皆さんのご子弟の受験もありました。ありがとうございました。ご期待に添えないこともありましたこと、紙面を借りてお詫びします。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。知多半島以外におみえの卒業生の皆さま、ご子弟の進学先として、母校を検討の範囲に入れてください。決して通えない学校ではないと思います。

1 今春の地域別入学者数

	推薦入学者	一般入学者	内訳		合計
			男子	女子	
知多	119	52	66	105	171
名古屋	34	7	17	24	41
尾張	17	8	8	17	25
三河	4	1	2	3	5
県外	3	1	1	3	4
合計	177	69	94	152	246

2 全校生徒数

	男子	女子	計	クラス数
1年	97	155	252	7
2年	91	121	212	6
3年	92	107	199	5
合計	280	383	663	18

最近の進路状況と本校の進学指導

高校と大学の7年間を一貫した教育を展開していくための「高大青年期一貫教育」は、開始から7年目を迎え、着実に実を結びつつあります。付属高校から日本福祉大学への進学者は同学年の約半数に達し、中央・高浜専門学校も含めるとさらに多くの生徒諸君が、福祉大学や2つの専門学校の門をくぐるまでになりました。

福祉大学への進学者の増加という「出口」だけでなく、教育内容でもいくつかの点で大学と連携を強めています。高校生が大学生と机を並べて大学の講義と一緒に聴く「大学講義体験」はスタートからとりくみ、高校生からは「大学生の雰囲気味わえてよい」「高校の授業にはない話が聴けて面白い」など好評です。また昨年度から3年生の希望者を対象に「福祉社会入門」を開始しました。これは日本福祉大学の先生がリレー方式で講義を行い、次週にはさらにそれらを深めるなど、大学と高校の教員が共同で開講するものです。今年度からは正規の時間割に位置づけて開講します。

他大学進学希望者にも様々なとりくみをおこなっています。1年では進路適性を知るための適性検査や学習の成果や弱点を診断する実力テスト、2年ではそれらに加え3泊4日の夏季学習合宿、3年では校外模擬試験の実施や推薦入学に対応した小論文指導、また全学年を通して英数国を中心とした進学補習、進路ノートを活用した進路・学習相談、読書習慣を身につけ、読書に親しむ毎朝の10分間読書、各種進路ガイダンスなど進路を切りひらく学力をつけるためのとりくみを行なっています。

2002年度卒業生の主な大学合格先は以下の通りでした。

日本福祉大学 99名・愛知大学・愛知医科大学・愛知淑徳大学・愛知みずほ大学・金城学院大学・信州大学・大同工業大学・中京大学・中部大学・同朋大学・名古屋外国語大学・名古屋経済大学・名古屋芸術大学・名古屋女子大学・南山大学・人間環境大学・名城大学・和光大学 他

福祉社会入門 今年度から、本校3年生を対象に、大学の先生のリレー講義で織り成して行く「福祉社会入門」が本格的に始動しました。

高・大の担当教師が緊密に打ち合わせながら、大学の先生の専門的な研究の成果を高校生に分かりやすく展開します。生徒も授業に対する質問や意見を述べて、それへの回答も講義に盛り込んでいきます。クラス単位の討議やレポート作りも予定しています。生徒が抱えている「福祉」への強い興味や関心に応え、大学の先生と高校教師とが共同して生徒を育てていく、生徒参加型の授業づくりを通して、青年期一貫教育を文字どおり、授業・学習の面で実現したいと思っています。

日本福祉大学は人間福祉複合系大学として、「福祉社会」の実現を目指し、それを担うすぐれた人材を養成するという学園全体の理念のもとに、4学部体制を作ってきました。こうした福祉大学の発展を踏まえ、人間の幸せを実現する福祉社会、それを取巻く多様な問題を広く深く捉える、この課題に、生徒ともども取り組んでいく、そこにこの授業の大切なねらいがあります。

総合学習 「総合的な学習の時間」は高等学校では2003年度から本格的に始まる新しい科目です。これまでの教科や科目の枠組みや勉強の発想にとらわれない「時代に要請される総合的な学び」を作り出すことを目指しています。本校では、「学び」の大きなテーマを「地域」において、「地域に学ぶ」「地域から学ぶ」視点を大切にしたいと考えています。したがって、フィールドワークなどに出かけ五感を使って体験的に学ぶ活動も重要になってきます。また、個人毎の学習だけではなく、他人と共同で学ぶとか、学んだことを共有する活動も必要になります。そして1年間の学習活動のまとめとして発表の機会をつくります。さらに、学んだことをもとに、自分たちの考えを社会に発信する活動や、少しでも地域の問題を解決する糸口を提案できたらとも考えています。これらの活動を通して生涯を通じて行なわれる「学び」の方法をしっかりと身に付けていくことも大きな目標の一つです。

今年度の1年生は、一学期を「学びのための基礎的なトレーニング」の期間として位置付けました。みんなの考えをまとめる方法とか、インタビューの方法とか、知多半島についての基礎知識を学ぶなどを行ないます。一学期末には担当教員（7クラスに10人配置）ごとのテーマ別クラスになります。二学期はテーマ別クラスでの調査・研究活動を行なう期間とします。三学期はまとめの期間とし、レポートを作成します。さらにまとめの発表会も行ないたいと考えています。

2003年度、新年度の始まりは在校生全員で作る入学式。今年は2年生の諸君がダンスに群舞「Stotoco」、「世界に一つだけの花」の合唱で新入生を迎えました。卒業生の皆さんが、本校の伝統として大事にしてくださった「生徒が主人公の学校」づくりは、現在の在校生の心の中に脈々と受け継がれています。またその思いを新入生の諸君も素直に受けとめ、新入生歓迎の取り組みとして新しい本校の伝統行事となりつつある餅つき大会の実行委員には1年生の半数以上の生徒が名乗りをあげてくれました。加えて、自らの学年の取り組みとして、学級・学年議長団の確立、OR合宿、新入生歓迎フェスティバル模擬店出店に向けての準備に忙しい日々を送っています。議長団ニュースを毎日発行するなど、上級生に負けない取り組みを展開しています。

クラブ活動の取り組みについてもお話ししましょう。和太鼓部の活躍についてはすでに皆さんご存じのことと思いますが、3年連続の全国大会入賞、さらに小学生との交流を中心に奥田地区全体に和太鼓を通してのつながりを生み出してきました。本校がこの奥田地区から支えられ、支持される学校になりつつあることへの大きな牽引力となっています。また運動部においても、昨年度サッカー部、陸上部、卓球部、剣道部が県大会に出場、男子バスケット部も知多地区で3位に入賞するという成績を残しました。文化部においても、ボランティア部がユネスコの主催する大会への参加、演劇部の演技賞受賞など、いくつかの特筆すべき成果を残すことができました。

また、個人的にも3年生の祖父江吉晃君がアイスホッケー、2年生の沢田明日香さんがアルペンスキーの国体選手として選抜され、活躍しています。文化的な部門においては、昨年度は当時3年生だった根津明奈さんが、今年度は2年生の溝口真希さんが書道の部門で高文連全国大会に作品を出品したり、ピアノ演奏において全国レベルのコンクールで入賞している2年生の日比亮太君の活躍が光っています。

新入生歓迎の取り組みの次には「ゆりのき祭」の取り組みが始まります。学園創立50周年、高校創立45周年にふさわしい内容づくりにむけて、生徒会執行部を中心に頑張っています。卒業生のみなさんをはじめ、奥田地域の皆さんともつながり、豊かな取り組みへと発展させていきたいものです。ゆりのき祭でお会いしましょう。

生徒の活躍

会 計 報 告

【2002 年度同窓会決算報告】

《収入の部》

項 目	2002 年度予算額	2002 年度決算額	備 考
前年度からの繰越金	8,483,091	8,483,091	
当期会費収入	1,135,000	1,130,000	入会金(@5000 円×226 名)
名簿等収入	0	0	
利息収入	2,000	497	銀行・郵便利息
その他収入	0	10,088	寄付、雑収入
収入合計	9,620,091	9,623,676	

《支出の部》

項 目	2002 年度予算額	2002 年度決算額	備 考
消耗品費	50,000	19,060	会報制作用印刷用紙、文房具
会議費	230,000	5,746	
総会費	0	0	
幹事会	150,000	1,451	飲料費
常任幹事会	50,000	3,883	〃
委員会	30,000	412	〃
通信費	1,060,000	1,196,668	
幹事会案内	50,000	26,700	常任幹事会、幹事会、委員会
会報郵送	1,000,000	1,154,678	
その他	10,000	15,290	会報原稿依頼、その他
アルバイター費	50,000	47,910	
名簿整理	50,000	47,910	
業務委託費	280,000	70,779	
会報発送	100,000	67,528	発送作業費
ホームページ制作	150,000	0	
手数料など	30,000	3,251	残高証明書手数料、振込手数料
印刷費	750,000	603,120	
会報	500,000	445,620	第 10 号
封筒	150,000	157,500	角 2 封筒
その他	100,000	0	
事業費	100,000	48,982	
ゆりのき祭参加費	100,000	48,982	備品借用料、材料費
備品費	0	0	
予備費	100,000	0	
支出の部	2,620,000	1,992,265	
次年度繰越金	7,000,091	7,631,411	
収入合計	9,620,091	9,623,676	

【2003 年度同窓会予算】

《収入の部》

項 目	2002 年度予算額	備 考
前年度繰越金	7,631,411	普通預金+定期預金+郵便貯金
会費収入	995,000	入会金(@5000×199 名)
利息収入	2,000	銀行・郵便利息
雑収入	0	
合 計	8,628,411	

《支出の部》

項 目	2002 年度予算額	備 考
事務費	170,000	* 業務費
消耗品費	50,000	印刷用紙など
印刷費	50,000	長 3 封筒など
通信費	10,000	
アルバイター費	50,000	
その他	10,000	残高証明書発行手数料など
会議費	1,030,000	* 通信費、飲料費
総会	940,000	
幹事会	40,000	
常任幹事会	20,000	
委員会	30,000	
事業費	4,030,000	* 各事業運営費
文化事業、懇親会	930,000	
会報発行	1,900,000	製作費、印刷費、発送費
ゆりのき祭	100,000	
ホームページ制作	1,000,000	* 新規
特別給付奨学金	100,000	* 新規
備品費	0	
予備費	100,000	
支出合計	5,330,000	
次年度繰越金	3,298,411	
収入合計	8,628,411	

役員（常任幹事）紹介

会 長	辻 和夫	1961	常任幹事	河村 昇	1971	監 事	丹羽 典彦	1960
副 会 長	片山 隆	1978		森 恵子	1973		小塚 光夫	1968
	小林 純穂	1987		榊原 京子	1983	名誉会長	福岡 猛志	校長
書 記	吉川 宗甫	1963		加藤佳奈子	1993	理 事	辻坂 英雄	教頭
	西村 容子	1978		西 将志	1993	事 務 局	朝比奈園美	事務職員
会 計	福井 政浩	1983		布目 達彦	1996			
	北島 明治	事務長		江ノ上敦士	2001			

※年度は卒業年度

幹事（世話人）紹介

（ ）は協力者

回生	卒業年数 (西暦)					回生	卒業年数 (西暦)				
1	1960	(佐藤 友彦)	丹羽 典彦			24	1983	福井 政浩	榊原 京子	樋口 吉己	
2	1961	辻 和夫				25	1984	古川 裕資			
3	1962	(池田 修三)				26	1985	福地 充洋			
4	1963	吉川 宗甫	山東 克彦			27	1986	松田 洋幸			
5	1964	吉田 孝仁	水野 義広	水野 孝安		28	1987	小林 純穂			
6	1965	武田 晃代	島田ひろ子			29	1988	鈴木真理子			
7	1966					30	1989	仲野 智	久田 里子		
8	1967	山本 哲資				31	1990	瀬尾 隆之	中野 ゆか		
9	1968	大久利一男	小塚 光夫			32	1991	木俣 聖佳			
10	1969					33	1992	富田 達郎	竹川 寅之		
11	1970					34	1993	加藤佳奈子	堀場 純矢	西 将志	鈴木 聡子
12	1971	河村 昇				35	1994	白井 雅樹	(榎戸 幸子)		
13	1972	近藤 春幸				36	1995	佐藤かおり	鶴長 泰輔		
14	1973	(植木 高広)	(植木 典子)	森 恵子		37	1996	奥蘭あゆみ	大石 康人	布目 達彦	原 亜希子
15	1974	水野 英子	古澤美代子					水上 学	萩森 誠行		
16	1975	山口 善幸				38	1997	尾之内 童	白石 優理	長谷川純子	宮川 鮎美
17	1976							寺澤 由紀			
18	1977	中村 勝彦	鬼頭 和則	青山 智弘	高木 真澄	39	1998	河内 美和			
19	1978	片山 隆	西村 容子	桂 佳男		40	1999	吉口 史晃			
20	1979	高垣 充				41	2000	鶴飼 健史			
21	1980	筧 重和	菊地 淳子			42	2001	江ノ上敦士	武田 恵子	廣瀬 美子	
22	1981	岡本 吉治				43	2002	大久利勇輝	山崎由香里	佐々木諒真	榎本 千香
23	1982	川瀬 克幸	(渡辺 美雪)								

※ 2002 年度第 1 回幹事会以降に決定した新幹事

新幹事代表挨拶

大久利勇輝（2002 年度卒業）

2002 年度卒業生で新しく幹事をやらせてもらう、大久利勇輝です。
私たち 2002 年度卒業生は、4 年後の 2007 年 1 月 6 日に第 1 回同窓会をやる事が決まりました。今から 4 年後の同窓会が楽しみです。
私は、同窓会の組織のしくみがわからない部分が多いので、これから少しずつ覚えていこうと思います。ご迷惑をかけるかもしれませんが、よろしくおねがいします。



- ・役員（常任幹事）のメンバーが入れ変わりました。まずは総会に向けてがんばりますのでよろしくお願いします。
- ・学年幹事募集中です。協力していただける方がいましたら連絡して下さい。

日本福祉大学附属高等学校
同 窓 会

〒470-3233 知多郡美浜町奥田字中之谷 2-1
TEL (0569) 87-2311 FAX (0569) 87-2312